

# キャベツ



## 育苗

散水時に使用する



- 根っ酵素1000倍液 →根を強くし、生長を促進。
- 花咲くCa液1000倍 →葉を厚くし、充実させる。

4日間隔で交互に、葉の上からタッパー散布する。

(10アール当り)

時期	方法	資材と施用法
地力作り	なるべく早い時期に (播種までに1ヶ月以上 おくこと)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ラクトバチルス600g →排水よく、根の張りやすい肥沃な土を作る。</li> <li>●堆肥1トン以上(なるべく多く)</li> <li>●硫安80kg(もし通常の複合肥料なら、チッソ成分16kg程度) ※土壌pH:6.5を目標として、もし土が酸性なら、地力作り時に畑の大将も投入して、土層全体を中和しておく。特に根コブ病の頻発する畑では、酸性の中和も大事。</li> </ul>
整地時	整地・ウネ作り時に全面 散布、またはベッド上に 散布	<ul style="list-style-type: none"> <li>●畑の大将&lt;青&gt;60kg ※この量の増減で土壌pHを調整する事。</li> <li>●マンゾク粒状50kg →根の増強、生長促進、土壌病害・根コブ病対策。</li> </ul>
定植時	定植前後の灌水時に	<ul style="list-style-type: none"> <li>●根っ酵素500倍液 →初期の根張り促進、根コブ軽減。</li> </ul>
前半	葉面散布／灌水	<ul style="list-style-type: none"> <li>●根っ酵素500倍液を葉面散布→根・生長の促進。 生育を強くするには、特に前半は根の力をつけることが大事。 ★特に生長が弱い場合、根コブが心配なら灌水施用で回復。 原液3~10リットルを灌水(300倍前後)。</li> <li>●花咲くCa液500倍 →生育を引締め、葉の病害対策。 チッソ過多、芯腐れが心配な時はカルシウムを葉面散布。</li> </ul>
追肥	通常は、定植後30日、 結球前(作型により調節) ※同時施用可	●硫安20kg
		●畑の大将20kg
仕上げ	収穫前10日頃、 葉面散布	<ul style="list-style-type: none"> <li>●花咲くCa液500倍 →葉を厚く充実させ、旨味が増し、品質が向上。</li> </ul>